



在京古高同窓会 会報 第13号

〒133 東京都江戸川区
北小岩6-10-1
在京古高同窓会事務局
☎ 3672-7015
FAX 3672-1147
印刷：(株)ケーヨー

「総会」夏に定着か？

―二度目の夏開催も大盛況―

平成6年度の総会ならびに懇親会は7月9日(土)午後2時から高田馬場千代田平安閣において開催された。

2度目の夏開催となった今回も雨で入出に相当影響があるのではと懸念されたが、幸い天気は回復。目標150名には及ばなかったものの来賓を含め125名を集め夏開催の感を強くした。

初めに、8階椅子席の会場で総会が行なわれ、校歌斉唱のあと、伊藤会長が「激動する内外情勢等について話され、さし迫る総選挙が最大の関心事である。」と挨拶され幕を開けた。尾崎章さんの司会で、議事の進行には片平事務局長が当り活動報告、決算報告等



総会で開会の挨拶をする伊藤会長

の議事は問題なく承認された。最後に6月の役員会で副会長として推挙された高橋淳夫さんの件が承認された。手際よく進められ、総会審議は短時間で終了。多藤副会長の挨拶で総会終了。すぐに、昭和20卒の高橋昭典さんの「知っておきたい税情報」と題する講演(講演要旨は2面に掲載)に移りました。高橋さんから予め4ページ分の講演資料をいただき、皆さんに配布していたせいか、話が分かりやすくして大分参考になった人も多いのではないのでしょうか。さすが税金博士です。引き続き7階の立食パーティー会場に移動しての懇親会です。司会は佐藤啓三(昭和41年卒)さん。新副会長となった高橋淳夫さんの挨拶で始まり、続いて来賓として母校からご出席いただいた渋谷校長、野村同窓会長に、母校の様子や故郷大崎地方の最新の話題をご提供いただきました。勿論、着々と進みつつある百周年記念事業の現況にも言及されておりました。

さて、いよいよ乾杯です。在仙古高同窓会から駆けつけてくれた三浦良副会長の音頭で乾杯。乾杯の後は、招待客である古女高鈴木富子さん、古工高松下巖さん、古商高の上野孝一さんの挨拶があり、ようやく祝宴となる。

平成6年度の年会費は、先の総会での徴収が初めてですので、総会に参加した方以外は未納です。振替用紙にて払い込んで下さるようお願いいたします。



毎回、料理では評判のいい平安閣であるが、ヤッパリ一番人気はズンダ餅アツという間に売り切れ。しばらくは思い思いに談笑の時間。待たされた分よく飲んで大いに食べ、あとは歌うだけ?と、タイミングのいいところでカラオケ大会となった。

昭和41年卒の小杉誠輝さんの司会でそれぞれご自慢の持ち歌を披露。カラオケでチョット盛り上がったところで浅野勝弘さんの登場です。

現役の大学生をまじえた50年代以降の卒業生を引き連れ、壇上に上がると場内から拍手の嵐。すっかりお馴染みとなりましたが、今年はお前年の応援団経験者がいて様々なエールを演じ、

図南歌や応援歌を次々に繰り出し最高潮に。壇上を降りかけたなら、興奮冷めやらぬ会場から「校歌をやれ!」と呼び戻され、野村同窓会長も巻き込んだの大合唱となりました。

中締めはもちろん春田紘輔さんです。豪快な関東一本締めが見事に決まってチョン。片平事務局長の閉会の挨拶が終わって懇親会が終了。来年春の合同新年会での再開を期して散会。二次会はめいめい学年の集団ごとに夜の巷間に消えた。今回は、いつもより昭和55年以降の若い年代の参加が多かったが、殆どが一人だけの参加で寂しい思いがしたのでは?。次回への反省材料としたい。

最後に、「今年は参加出来ませんが来年こそ姉妹都市の台東区長を誘って参加したい。」と行っていた中川俊一古川市長からのメッセージを原文のまま掲載します。

在京古高同窓会平成6年度総会の盛会を心からお喜び申し上げます。また、皆様方には日頃から郷土の発展のため、お力添えをいただいておりますことに、敬意と感謝を申し上げます。

古川市を中心とします米所・大崎地方は、昨年大凶作に見舞われ皆様方には大変ご心配いただきましたが、今年の稲作は天候にも恵まれ、順調に成育しており、このまま推移し豊饒の秋を迎えたいと願っております。

古高同窓会の皆様方には、それぞれの分野で大変な活躍をいただいているところでありますが、今後ともご健勝にて郷土発展のため更なるご指導、ご協力をお願い申し上げます。

古高同窓会の益々のご発展とご参会皆様方のご多幸をお祈りいたします。

平成六年七月九日
古川市長 中川 俊一

総会決定事項より

今回の総会では、平成5年度の活動報告、決算報告等の議案が出され、全て満場一致で承認されましたが、ここでは役員改選(今回は高橋さん副会長推挙のみで本来の役員改選は来年度)で新たに副会長に専任された高橋淳夫さんの件と決算報告を掲載します。

副会長 昭和17年卒 高橋 淳夫

| 収 入 | | 支 出 | |
|---------|-----------|-------|-----------|
| 年会費 | 1,468,000 | 会議費 | 2,890,459 |
| 特別会費 | 2,880,000 | 印刷費 | 569,264 |
| 広告 | 570,000 | 事務用品費 | 2,730 |
| 祝儀及び寄付金 | 315,630 | 通信費 | 1,041,821 |
| 雑収入 | 46,057 | 広告宣伝費 | 0 |
| 前期繰越 | 2,745,387 | 慶弔費 | 130,000 |
| | | 組織強化費 | 368,747 |
| | | 雑費 | 93,031 |
| | | 次期繰越 | 2,929,022 |
| 収入合計 | 8,025,074 | 支出合計 | 8,025,074 |

今後の行事予定

第2回目の合同新年会が平成7年1月29日(日)、平成7年度の総会が平成7年7月4日(土)と決定しております。会場は両方とも千代田平安閣の予定です。

講演 要旨

「知っておきたい税情報」

昭和20年卒業
税理士 高橋 昭典

1 税を見る目、税の基礎知識
税は、私達にとって時事問題であり理財(財産を有効に運用する)の問題である。

私が士官学校から復員して税務署に入った頃は、「火事だ、どこだ、税務署だ、ほっとけ」といわれた時代だが今、税は「共同社会を維持するための会費」と認識されている。ゴミ処理や治安の良さ(人口10万人あたりの犯罪率:強盗は、日本で18件発生して70%弱の検挙率なのに、米国は233件発生して26%)など、税は国民の幸せのために有効に使われているからである。

税は国家財政の基礎、平成6年度の歳入の77%は租税で賄われるが、平成5年度1.6兆円の収収不足で財政は苦しく、行政リストラ、消費税アップが問題とされている。

ところで、日本人の納税者意識はラテン型で高くはないといわれていたが最近「脱税は社会公共の敵」と脱税犯の判決は殆ど実刑(例えば、2億円の脱税で懲役1年半)で執行猶予はつかない。今国税庁は、納税思想は小学生のときからの躰が大事と、文部省にお願いして「租税教育」に力を入れていく。

2 理財で節税

さて私は、税に王道はないから、理財は長期構想でと、いつも皆さんに話している。一般論としては、①生前贈与より相続税の方が有利だから慌てない、②課税財産の72%は土地、調査でトラブルになり易いのは土地の評価と無記名割引債など、③土地は国税局長が毎年定める相続税評価額(路線価)



資料を手に説明する高橋さん

で計算されるが、この路線価は公示価格の80%の額、しかし東京と古川では次元が違う。例えば平成5年の古川駅前大通りの路線価は1㎡当り30万円なのに、今日の会場の高田馬場平安閣の前は450万円、姉妹都市である台東区の上野広小路は1千62万円、同浅草橋は799万円と桁違いに高い。だから理財は古川で考えるのと東京で考えるのとでは大違い。気を付けてほしい。

さて各論に入るが、「生前贈与」はまず気長にすること。1千万円を1年で贈与すると283万円の贈与税がかかるが、毎年100万円づつ10年間なら40万円毎年50万円づつだとゼロになるが、ゼロの場合は贈与したくないで揉めるので、80万円贈与して2万円の贈与税を納める方が安心だという人もいる。次は特例の活用で、①父母や祖父母から「住宅取得資金」の贈与を受けた場合1千万円までなら条件付きで贈与税が安くなる。夫婦が各々実家から1千万円づつ貰って共有で2千万円のマンションを買った場合、贈与税は2人併せて僅か140万円ですむし、②結婚20年以上の夫婦間で「住居用不動産」を贈与した場合には、条件付きで2千万円まで

は無税になる(2千万円の計算は相続評価額によるから、購入資金で贈るより、買って土地建物で贈った方が有利)。次に「相続」の問題だが、①相続税には「基礎控除」があるので、例えば妻と子2人の場合、遺産8千万円までは相続税がかからないし、②配偶者の相続については、遺産1億6千万円までか、法定相続分(子がいる場合は2分の1)までは相続税がかからない。③また、土地の評価も、亡くなった人の居住宅地で200㎡までの部分については、配偶者が相続した場合および同居の子が相続し引き続き住んでいる場合には8割引、その他の場合でも5割引。不動産貸付用・駐車場用ものは規模の大小にかかわらず5割引で評価されるから、普通の人はそう相続税を心配しないでもすむようだ。でも、実際の相続になると分配で揉めることが多いので、遺言をつくっておくなど遺産分割がスムーズに行なわれるよう心掛けておくことも理財の大事なポイントである(特例には遺産分割か条件のものもある)。

その他マイホーム(敷地は家と一緒に)を他人に売ったときの譲渡所得については、3千万円の特別控除がありさらに所有期間が10年超など一定の条件に該当すれば、軽減税率の特例(通常の半分以下)や買替えの特例がつけられるが、今までの述べた特例は、いづれも条件付きでも申告用件なので、税については、事実関係、権利関係を明確につかんで、事前に税務署の税務相談室(無料)や税理士(有料)に相談することは大事、これも理財の重要なポイントである。

同窓会に参加して

「平成4年卒の最年少トリオ「同窓会に参加する」の記

平成4年卒 横山 貴英
新年会、総会と続けて参加させていただき「古高恐るべし!」とあらためて感じた。「現役学生の諸君!在京古高同窓会を乗っ取ってしまおうではないか。あんなに元気な先輩方を野放しにしておくと、大変なコトになってしまおうぞ!」

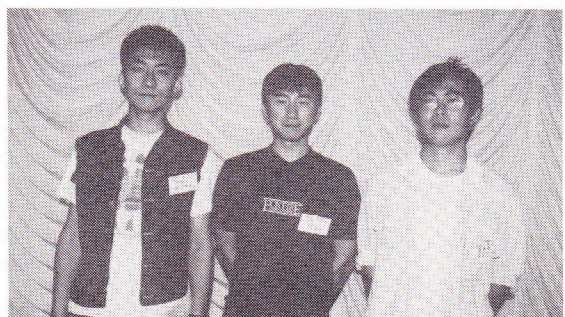
こんなコトを書くとは「何だね君、若輩者のクセに!」パーンパン(机の音)と云われそうだが、自分は古高卒業生であります。「意気盛んな古高健児ここにあり!」などと、やたらキッパリした方針でいこうと思っている。

くふくふ。「さあミンナ東京に来るのだ!」紙数不足!

平成4年卒 千葉 香一
大学生活の馬鹿さ加減に飽き飽きしていたこの6月、私に一つの至上命令が下った。それは「在京古高同窓会二現役ノ大学生ヲ沢山連レテ来ルベシ」。それは、なんと恐るべき命令!と思ったのは私だけかもしれない。

その日から電話、口頭で皆に呼びかけたが、当日集まったのは私を含めてたった三名。誠に遺憾でありました。先輩方も大変残念がっていたぞ学生諸君!

さて同窓会では、高橋昭典先輩のご講演「知っておきたい税情報」は大変になりましたし、先輩方の素晴らしいエールには感服いたしました。



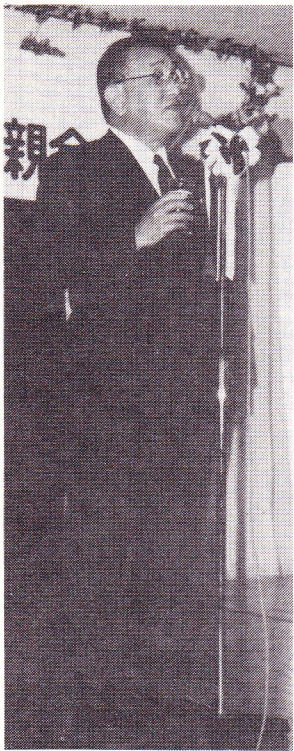
写真は左から横山君、千葉君、清水川君

平成4年卒 清水川 令
さる7月9日、在京古高同窓会の総会に最年少組の一人として参加させていただきました。「在京」とはいつでも皆さん出身は宮城県の大崎地方であり、方言丸出しで会話が出来たせいか、諸先輩方と心置きなく何でも話しあえたことが、とても自分には良かったと思えました。

宮城県から出てきて、自分たちの故郷について話す機会があまり無かったのですが、先輩たちと故郷についていろいろ討議出来たことも大変素晴らしいことでした。

会場では諸先輩から、いろいろお世話をいただきましたが、中でも浅野勝弘先輩には最初から最後まで面倒を見てもらいありがとうございました。

総会
スケッチ



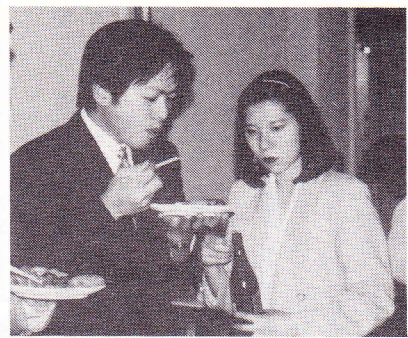
▲乾杯の音頭の三浦良さん



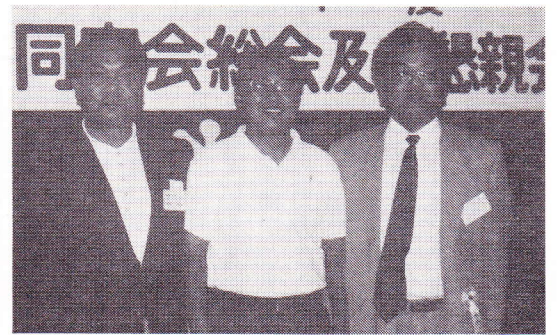
▲野村同窓会長の挨拶



▲挨拶する渋谷校長



▲夫婦で参加、53年卒新婚の高橋さん



▲左から51年卒の早坂さん、荒関さん、菅原さん



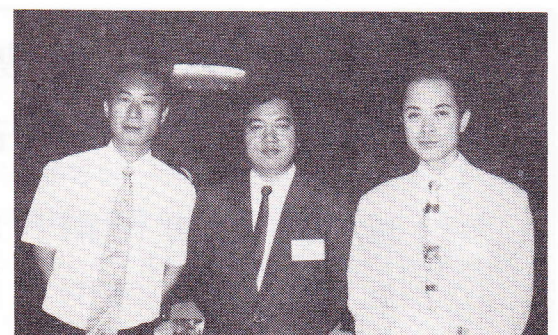
▶ 今年は勢揃いの応援軍団
◀ かつての教え子（女子高の鈴木さん）と談笑する高橋新副会長



▲今回大挙して参加してくれた昭35年卒の面々



▲監査報告する青沼さん



▲左から昭44年卒の高橋さん、伊沢さん、細川さん

「古高昭和35年同期有志会」
佐々木 武磨

大崎耕土で育ち、同じ「米」を食って、同じ古高で学んでも、今まで同窓会には見向きもせず、「細腕一本、わが道を行く」のスタイルで都会の荒波を乗り越えてきた。執念深い伊・暴れ牛年生まれの昭和35年卒。やっと、年貢の納め時か！

これまでポツリ、ポツリと気の合う奴らだけで、細々と有志会の炎を灯し続けてはいたが、今回の同窓会出席を機に嶺岸宗君の連絡で、平成元年以来5年ぶりに同期の有志会を持つに至った。

同窓会には過去最高の10名が参加。同窓会がお開きになった後の同期有志会は、福原誠君の段取りで、新宿センタービルの中にある「安具楽」に17名が集合。

白髪が多くなってはいたが、懐かしき「イガグリ頭」を回想させる古高・光源氏の顔！顔！顔！即打ち解けて宴会男たちの独演場となった。34年の空白など殆どなく飲むほどに酔うほどに郷里や同級生等の話題で花盛り。

時が経つにつれ同期会開催への声があり、来年（平成7年）早々に結城康太君の幹事で宿泊同期会開催決定。また、在京の古高同窓会をより以上に盛り上げるため昭和35年卒の次期幹事を嶺岸宗君と梅沢和雄君の両名に内定し、来年の再開を期して散会！新宿のネオンの中、有志2次会へ。

来年は楽しみだよ！

暑中お見舞い申し上げます

十月に在京三六会があります。みんなの近況確認のためぜひご出席下さい。佐々木喬会長の通知をお待ち下さい。

昭12 大宮 正義

食べてそのものの味が分かるように、参加して同窓会の雰囲気よさを知る。迷っている方待っています。

強化委員長 昭34 穴戸 志智

総会では熱烈なご唱和を頂き、ありがとうございました。8月下旬より古川に戻って活動をして参ります。皆様のご健勝をお祈りします。

昭53 浅野 勝弘

柔道部の仲間と、酒を飲むとつい飲みすぎてしまう。これも古高以来のいい付き合いだと思いが、私も年をとったので少し考えて飲もうと思っている。

昭27 春田 紘輔

暑い夏、省エネ・省資源、設備管理のコンサルタントに取り組み中です。相談事ご一報下さい。SGS〇三三三五三―四三三五〇

昭40 佐藤 啓三

今夏は、昭和二十三年二十四年卒同級会、三年に一回開催。本年も八月七日古川芙蓉閣で・楽しみにしています。

昭23 菅 昇

多忙のため、会に顔を出せなくてすいません。元気でやっています。

昭58 佐々木 達也

われわれの心よりどころである同窓会の一層の発展のために微力をつくして参ります。会員の皆様の一層の御協力をお願いいたします。

在京古高同窓会会長 伊藤 宗一郎

暑中お見舞い申し上げます。

五月の連休に、先祖の墓参に、帰郷し、銘酒「夢幻」を痛飲してきました。

昭26 中新田出身 佐藤 芳夫

北海道に来て早や四年になりました。夏の涼しい当地へ参りましたときには是非ご一報を、お待ちしております。

昭29 佐藤 廣

暑さにも負けじと

咲くやサルスベリ

昭9 呵呵

暑中見舞い 納涼ビール大会開催予定で、連日連夜、前夜祭を行っています。

昭和51年卒の同級のみなさん9月3日予定で行ないます。

昭51 菅原 博之

今年より子供も親の手をはなれはっと一息、郷里が一段と懐かしい思いです。夫婦で鳴子温泉でも思っています。

昭32 高橋 武彦

卒業後初めての同期会（8月14日ゴールデンパレス）に出席するため、久しぶりで田舎に帰ります。

昭45 畠山 英洋

五月、同期会の折故郷（中新田）に立寄り、弟の車で最近温泉を掘り当てた小野田町薬業山麓の「薬師の湯」、色麻町の「河童の湯」でのんびり汗を流して来ました。

昭12 佐藤 恂一

皆様お元気ですか！小生は独特の消暑法を実行しておりますので元氣一杯です。お盆には須川温泉にて温泉浴と墓参に帰郷します。

昭26 遠藤 惇

三十年間の登山歴での「日本百名山」登頂は三十余座のみ。谷川、至仏、赤岳・・・と名山追っかけの夏です。

昭37 千坂 孝夫

暑中お見舞い申し上げます。7月の総会で副会長に推挙され、責任を感じております。ご協力の程願います。

昭17 高橋 淳夫

今年の秋頃、在京古高同窓会の旅行を企画しています。後でご案内しますので参加して下さい。

昭41 小杉 誠輝

世情は不安定？天候は不順、酷暑で水不足の今夏、同窓の皆さん暑さに負けず健康一途に頑張りましょう。

昭9 伊藤 守治

チョット予算が多めになるかも知れませんが、合同新年会は当ホテル「ホテル・メトロポリタン」で、料理もおいしいですよ！

昭45 菅原 強

暑中お見舞い申し上げます 在京古高三一会有志

| | | |
|---------------|--------------|--------------|
| 浅野 平 男 (色麻) | 尾崎 章 (富永) | 鈴木 和 夫 (古川) |
| 生 亀 功 (池月) | 奥村 信 良 (敷古) | 高松 光 一 (古川) |
| 石川 勝 夫 (鳴子) | 片平 司 朗 (古川) | 萩 沢 法 雄 (清滝) |
| 石川 守 人 (志田) | 熊谷 正 俊 (古川) | 益 子 剛 (色麻) |
| 石 堂 十六男 (長岡) | 佐々木 寛 (中新田) | 松 谷 嘉 男 (古川) |
| 大 内 一 正 (中新田) | 佐 藤 勝 (古川) | 谷地森 清 元 (古川) |
| 大 石 隆 一 (田尻) | 菅 原 陸 郎 (古川) | (敬 称 略) |

1995年春の例会は4月か5月の予定、女子高と合同です。
1996年卒業40周年記念の同期会開催を期待します。

思いを想う

葬式なしの旅立ち?

昭和35卒 三浦 熙康

先日の朝日新聞(東京では7月17日付夕刊)に寿岳亭さんが「葬式なしの旅立ち」望む 父母と同じように迷惑かけず」という一文を書かれていた。

「新聞の死亡欄で、葬儀・告別式はしない、という記事をこのごろよく目にする」と書き出し、「両親とも自らの意志で「葬式はしなかった」とし、自身も「あることなら、『あれ、おしゃべりジュガクがいやへん。へ、死んでたんか』という風に、小さな灯りが一つ消えるように死にたいと思う」と述べておられる。

実は私も5年前にユーゴスラビアのベオグラードに特派員として赴任するに当たり、密かに遺書めいたものを作したため、その中に「俺が死んでも、葬式はするな」と書いた。

これまでに、親兄弟、親戚、近所といくつもの葬式に付き合ってきたが、とても自分の葬式で人様にあのような迷惑はかけられない。私の母は7月末に亡くなったが、火葬の日はやたら熱く、葬式の日には土砂降り。参列された方はさぞ大変だったろうと思う。

母の葬式は田舎式の「手作り」の葬式だったが、都会の葬式は、寿岳亭も指摘しておられるように、「葬儀屋とりしきりのお決まりの葬式」が殆どだ。伊丹十三氏脚本・監督になる映画「お葬式」に見る通りである。そして儀礼的でお決まりのことは、死んだ本人や親族そっちのけの大騒ぎ、わけの分からぬ坊さんのお経と足のしびれ。しかし、寿岳亭さんはこうも書いておら

れる。「もちろんこの世に知己多く慕われた人々がやはり葬式をすることは多くの意味がある。最近では、亀田徳治さんの教会葬、西山卯三さんの仏教葬で、本当に世の人から慕われていた故人の平和や社会へのあつい思いがその簡素で気品ある様式を通じて参列者の心にしみ通るようだった」。

妻の母は、「葬式はしないように。もしするならば、娘たち、孫たち、それに嫁だけで」といって亡くなった。ところが、身内だけでささやかな通夜を、と思っているうちに、どこで聞きつけたか、友人、知人、近所の方がつぎつぎに見え、喪主の義姉は冷たい視線に抗しきれずに急遽、葬儀屋を依頼した。

私の「遺書」は帰国前に偶然、家人の目にとまることとなった。帰国した夜、娘たちがそれを話題にした。妻いわく、「あなたの田舎のお兄さんは絶対に無視するに決まっているわ。死人には何も分らないんだから、ちゃんとした葬式をやらなさい、ときっというわよ」

兄貴より長生きしなければと思っ

母校百周年に向けて

総会の折、野村同窓会長から母校百周年記念事業の進捗状況についてお話がありました。百周年記念事業については、平成9年の百周年までに在京古高同窓会としても協力をしなければなりません。この件について母校より趣意書が届いていますので、ここに掲載致します。来たるべき協力要請の際は、ご理解下さるようお願い致します。

趣意書

宮城県古川高等学校は明治三十年に創立されて以来平成9年をもって百周年を迎えることになりました。

顧みるに、本校は地域社会の強い要望により宮城県尋常中学校志田郡立分校として創設され、宮城県第三中学校、宮城県古川中学校、そして現宮城県古川高等学校と校名を変え、幾多の変遷を経て今日に至っております。

この間、二万名にわたる人材を各界に送り出し、本県のみならずわが国発展のために大いに貢献してまいりました。また、現在本校には一千余名の生徒が在学し日夜勉学に、部活動に励んでおります。

此の度、創立百周年という記念すべき年を迎えるにあたり、PTA、同窓会および地域社会の方々、相談して平成五年の二月「宮城県古川高等学校創立百周年記念事業協賛会」を組織し100年に及ぶ古高の歴史にふさわしい記念事業を計画いたしました。

本会といたしましては、21世紀にむけて地域社会はもとより国家社会に寄与し得る有為の青少年の育成を期すると共に、宮城県古川高等学校の一層の充実発展を祈念して、学習及び生活環境の整備、校史編纂並びに同窓会会員名簿の発刊などの諸事業を推進してまいりたいと思っております。

つきましては、諸経費御多端の折、誠に恐縮に存じますが、以上の趣旨をおくみとりいただき、計画実現のため何卒ご賛同を賜りますとともに特段の御支援をいただきたくここに謹んでお願いを申し上げます。

平成五年二月十六日

宮城県古川高等学校

創立百周年記念事業協賛会

- 会長 中川 俊一
- 副会長 野村 喜太郎
- 高橋 法夫
- 峯 浦 弘夫
- 青沼 常雄
- 熊谷 善之助

限りない可能性を秘めて 胎動する不動産総合デベロッパー

- 第二古久伸ビル
- 三本木一括賃貸社宅
- 賃貸マンション等所有

関連会社
住王建設株式会社

不動産コンサルティング

goodnewLife

コクシン

株式会社 古久伸

建設大臣認定不動産コンサルティング技能士

代表取締役 千葉 勝男 (昭和32年卒)

営業本部 / 〒169 東京都新宿区高田馬場3-12-5 セブンビル403

TEL(03)3360-3811 FAX(03)3368-4943・3360-4813

本社 / 〒169 東京都新宿区高田馬場3-12-27 第一古久伸ビル

日曜大工園芸用品卸
貸ビル、貸マンション業

(株) 佐々木商事

代表取締役 佐々木 光一路

(昭和33年卒)

〒144 東京都大田区南蒲田1-1-21 佐々木ビル
第一京浜国道沿い京急蒲田駅前
小売部 (エコノミープラザ・ダックス)
電話(3732) 7700
卸売部 電話(3739) 2468
FAX(3739) 7234
不動産部 貸ビル・貸マンション

東西線蒲安駅、ディズニーランドのそばにワンルームの空室あり。同窓生には格安で対応します。

「ご挨拶」

昭和29年卒
関西蛍雪会会長 中 鉢 清

今年もまた異常気象の年になるんでしょうか。昨年とはうって変わって、この夏は極端な水不足。苦しいときの神頼みとは言え、各地で行なわれた雨乞い祈願の効果も期待はずれのうちに終わりそうです。それにしても昨年の冷害、特に東北地方の凶作は、われわれの生活にも大変な影響を及ぼし、忘れられない年になりました。

昨秋のことですが、郷里の人たちの情報に「いま農協の倉庫には一粒の米も無い」とか、「近所の農家の人は東京にまで米を買いに走った」といった緊迫した噂が伝わってきました。こんな話を耳にすると、高校時代の3年間

毎日通学列車の窓越しに見た大崎耕土の風景も、灰色に霞んで思い起こされるのです。さて、日頃は在京古高同窓会の方々特に事務局の方には、関西蛍雪会のためご配慮をいただき、心からお礼を申し上げます。中でも、発行の都度送っていただいている会報「蛍雪」は私共関西在住の者にとっても、同窓諸兄の活躍ぶりや母校の近況などを窺い知る貴重な情報源となっております。難く拝読させていただいてます。

私共の関西蛍雪会は、現在会員数はおよそ60名と少なく、ここ数年大きな増減はありません。会の活動も年に1回の総会を開くだけにとどまっており会員の中から「もっと活発な活動を」との要望もありますが、一昨年に実施したゴルフコンペだけが特筆する活動

も係らずに久し振りに駆けつけて頂いた。また、懇親会の席に、ホテルに偶然宿泊していた同窓生が飛び込んできて、皆で驚いたり喜んだりした。毎回集まる顔触れは、ある程度固まってしまうが、毎年1〜2名新顔の出席があり、その新鮮さと懐かしさで懇親の話題は尽きない。そして最後の締めくくりは、校歌から始まり、図南歌応援歌と続く蛍声の雄叫びに感動には胸を轟かす一瞬である。

関西における同窓会活動の現況

昭和30年卒 阿部 一彦

先日、在京古高同窓会事務局の片平さんからの電話で、かねてよりお願いしていた「蛍雪」に「関西蛍雪会」会員の投稿をお願いしていた件について快諾の返事をいただいた。

今回から「蛍雪」に「関西蛍雪会」会員の原稿が採用される事になった経緯等を、「関西蛍雪会」の会員に知らせるために、僭越ながら、私も拙文を掲載していただくことになった。

昨年は、第15回総会および懇親会を開催。年に一度の集まりであるが、大いに旧交を温めている。集まる人数は毎回15〜20名程である。昨年は初代会長を務めて頂いた三浦澄能さん（住友電設の社長に就任され）多忙中の身に

と言えます。会員の多くは各業界・企業の中で重要な立場におられ、一堂に会しての活動もおのずと制約されてまいります。従って、会員相互の交流も兎角疎遠になりがちで、会の活動も特色が失われる心配もありますが、幸いにも阿部氏や中沢重一氏、佐藤正幸氏の協力と阿部夫人瑛千子さんの日頃の気配りにより、会員相互の緊密感が保たれており感謝している次第です。

今年の総会も近づいてきました。例年通り大いに盛り上げ、古高健児の意気を謳歌したいものです。あまりにもお粗末な近況報告になりましたが、今後関西蛍雪会のために皆様のご支援ご協力を賜りたくお願いいたします。最後になりましたが、在京古高同窓会のみならず、ご発展と皆様のご健康を祈念いたします。

する手段や何かしら活動の目玉が必要と感じていたのである。この度、在京古高同窓会厚意により「蛍雪」の一隅に「関西蛍雪会」の動向や同窓生の交流はむろん、東西の情報交換が直接行なわれることに期待している。その試みは「関西蛍雪会」会員全員に趣旨が行き渡っていない現状であるが、今年の総会を期に徹底する事を願っている。また、在京同窓生の皆様には、どんな些細な事でも、関西に関する情報を知らせて頂きたいと願う。

関西方面にお出かけの節には、ぜひ私共の事務所にお立ち寄り願いたい。何ももてなすものはないが、関西の土産話等を沢山お持ち帰り頂けたら幸いです。

関西の風物詩である高校野球のシーズンになると、我が母校は如何かと甲子園に来るその日を一日千秋の思いで待ちわびている一人である。



三峯工業株式会社

(S・31卒)

代表取締役 片平 司 朗
東京都江戸川区北小岩6-10-1
TEL. 03(3672)1146(代)
FAX. 03(3672)1147

諸官公庁 指定塗装工事業者

神奈川県知事許可(般-62)3987号 マスチック施工協会会員
(社)日本塗装工業会会員 塗装工事一式請負

株式会社

ツナグ美装社

代表取締役 角田 耕 一 (昭和44年卒)

川崎市川崎区渡田2丁目11番4号 電話 044(333)4712番(代)
FAX 044(355)8145番



活力と魅力にあふれる
クリエイティブカンパニーをめざす

住友電設株式会社

取締役副社長 三浦 澄 能
(昭和24年卒)

東京都港区芝2丁目2-17 ☎(03)3454-7311(代)
大阪市西区阿波座2丁目1-4 ☎(06)537-3400(代)

1 はじめに
 ここ数年各企業においては、社員の「このころと身体の健康管理」について従来にも増して真剣に取り組んでいるようである。「このころの健康」についての定義は、「人間が環境に対して積極的に適応し、生き生きと生活している状態」を云うのだそうである。一方身体的（肉体的）な健康管理については人それぞれによって異なるので、これが決め手と断言できるものはないように思える…。

それまで7年間は、近隣地区住民の「走ろう会」に参加し、大阪ガスの専属トレーナーの指導のもとに、月間走行100キロペース（5キロ×25日）を継続し、体重も75kgまで落とした経験がある。
 3 ふる里は遠くにありて…
 (1)古高柔道部の思い出
 高校入学と同時に父の独断で柔道衣を買って与えられた。父は、旧制古中時代のような柔道部生活を、小生にも是非経験させたかったのであろう。
 当時の師範は、生物のデンスケ4段（斎藤良治先生）と事務の阿部譲6段で、か細い身体を随分と鍛えていただいた。特に2級上の春田紘輔先輩には古高時代はもとより、大学（東北学院）の柔道部でも心身両面にわたり、一方ならぬご指導を仰いだ。春田先輩には卒業以来40年近くお逢いしていないが、在京同窓会の重鎮として活躍されておられる由。小生にとっては今なお恐れ多い存在である。
 (2)古川在住の同輩
 当時の悪友？は、どうした訳か長男が多く、それぞれ店（自営業）の跡取りとして地元古川の旧市内で活躍している。
 特に、誉高き銘酒「玉の緒」の橋平分店の佐々木升一郎君とは、幼稚園から小・中・高・大学までの付き合いで高校・大学の7年間は、柔道部で共に汗と涙を流した心の友である。
 折に触れ、級友の動向や近況を伝えてくれたり、盆暮れには郷土の銘酒を送ってくれる気配り…。小生の先祖の

墓（瑞川寺）を定期的に清掃してくれる心配り…。ふる里にいる同輩の友情がたまらなく嬉しい。
 数年前、帰郷のおり、升一郎君宅に宿泊し明け方まで当時の悪友10数名と痛飲、懐旧談に花を咲かせたことが忘れられない。（小生の実家は高校3年秋に仙台市内に転居）
 4 関西在住36年
 (1)未だ「訛り」がとれず
 過ぐる58年間の人生の6割強を関西で生活しながら、いまだに東北訛りが抜け切れず、どこへ行っても出生地がバレてしまう。若かりし頃、上野駅のホームで聞いた売り子さんの「ジュースー（牛乳）ジュースー（牛乳）」の声が懐かしい。
 (2)「食」は関西に馴染む
 関西在住当初は、すべてに味付けが薄く閉口したが、今ではすっかり家内に飼いつらされ「関西の味」が全国へと宣伝できる。
 心友（親友）升ちゃん（升一郎君）が拙宅に泊まったときのこと。出す料理、出す料理にすべて醤油をぶっかけて…。

「ふる里雑感」

—健康であればこそ—

関西雪雪会 昭和29年卒 鈴木英悟 (古川市北町出身)

5 人生後編のデザインを模索
 誰しもが有意義な人生を送ることを望むが、人それぞれに人生観、価値観が異なるので、「有意義な人生」の定義は、これまた難しい。しかし、健康「心と体の健康」が、全てにおける大前提ではなからうか。
 スポーツを通しての心身の鍛練、仕事への打ち込み、交友関係、子女の養育などを「感動の前編」とするならばこれからは「感謝の後編」として、異業種の人々との交流、ボランティアへの積極的な取り組みを考えている今日このころである。

2 体力年令36才ー生理年令58才
 (1)エアロビクス歴6年
 スポーツジム通いを始めて6年。最近の体力測定（心肺機能、瞬発力、持久力等）の結果、体力年令36才とのこと。週3回のジム通いでは、筋力トレーニングをはじめエアロビクス、水泳をこなしている。
 美人インストラクターと若い女性のレオタード姿に交じってのエアロビクスは、目の保養はもとより、心身のリフレッシュには格別のもので信じている。
 トレーニング前後での体重測定で、1.5〜2.0kgの減量？（実は発汗によるもの…）と満足しつつ22時頃の帰宅となるが、就寝前の飲食になかなかブレーキがかからず未だに体重計の針は85kg前後を指している。因に、6年前にジム通いを始めた時の体重は86kgであった。
 (2)ジョギング歴7年
 スポーツジム通いを始めた動機はジョギングで膝を痛めてしまった事と転勤によって生活環境が変わり、折角スリム化した体型も、元のモクアミとなり、方向転換を図った次第である。

関西雪雪会のページ

関西雪雪会のページ

関西雪雪会のページ

士 理 士 青 沼 康 男

(昭和19年卒)
 〒108 東京都港区芝4-6-16 ライオンズ三田805
 TEL 03-3452-2004
 FAX 03-5476-8006

世界中の音楽ファンに大きな悲しみを与え世を去った偉大な音楽家レナード・バーンスタイン。その音楽遺産や業績を伝え広めるためのショップ「サウンドエッセンスルネ」を小平駅前オープン!

「サウンドエッセンスルネ」

0423-46-1121 (店)
 0423-43-2214 (分室)

株式会社三多摩不動産 TEL0423-41-4041
 有限会社三和商事 TEL0423-41-9565
 代表取締役 三浦哲夫(昭30年卒)

文字情報入出力
 コピーサービス
 テレホンカード
 トレース製図
 完成図書
 総合印刷

ケーヨーは情報化時代の未来を拓く
 あなたのパートナーです

取締役社長
 早坂清吉

株式会社 ケーヨー
 〒103 東京都中央区日本橋本町4-1-5
 ☎ 03-3242-0191・FAX03-3242-2061

暑中お見舞い申し上げます

総合インテリア・洋家具設計製作
有限会社 **ハタ工芸社**

代表取締役 **畑山雅昭**

東京都千代田区神田和泉町1-9

TEL. 03 (3866) 3076

FAX. 03 (3866) 3275

経営コンサルタント・社会保険労務士

青沼事務所

相模原市麻溝台2-6-30

青沼行雄 (昭和34年卒)

電話 0427-44-0770

FAX 0427-49-7230

残暑お見舞い申し上げます

今年も東京地区昭和36年卒同期会を10月に開催の
予定です。近々ご案内いたしますので楽しみに。
昨年以上にヤロッコだちが集まり吠えまくりましょう。

昭和36年卒同期会 [36 (さぶろく) 会]

— 平成5年同期会出席メンバー同 —

古
大川我水三松折藤萩千高瀬菅宍佐佐齊児菅片狩小大相
市
橋 妻上浦崎沢本田葉橋戸原戸藤藤木藤玉野倉野原根沢

靖 幾武正仁 義秋 幸吉 俊宗文練武隆俊 達 秀信
久
彦 寿彦明也敬明雄昇裕夫徹一博彦三夫行次康郎信憲義

暑中お見舞い申し上げます

昭和32年卒同期会有志

| | | |
|-----------------------|---------------------|---------------|
| 相 沢 成 憲 (古 川) | 草 刈 次 美 (宮 沢) | 高 橋 清七郎 (鳴 子) |
| 青 沼 哲 雄 (古 川) | 今 野 順 隆 (小野田) | 高 梨 利 通 (大 貫) |
| 青 羽 勝 利 (中新田) (伏見) | 川 口 勝 (北 浦) (齊藤) | 竹 谷 靖 夫 (古 川) |
| 阿 部 功 二 (鳴 子) | 佐々木 勝 也 (川 渡) | 長 沼 三 郎 (小野田) |
| 石 川 繁 (鳴 瀬) | 佐々木 悟 朗 (鳴 子) | 沼 倉 和 雄 (高清水) |
| 犬 飼 靖 光 (岩出山) | 佐々木 道 夫 (宮 崎) | 野 田 利 美 (東大崎) |
| 大 泉 康 (古 川) | 佐 藤 公 哉 (真 山) | 桧 野 健 (小野田) |
| 加 藤 謙 助 (古 川) | 佐 藤 満 行 (大 衡) | 三 神 良 雄 (中 埜) |
| 加 藤 昭 七 (北 浦) | 宍 戸 邦 夫 (瀬 峰) | 水 上 忠 彦 (古 川) |
| 木 戸 秀 彦 (志 田) | 下 屋 勝 (田 尻) | 渡 辺 光 夫 (敷 玉) |

参加する事に意義のある同窓会に！……32年卒はいつもトップ

友情と団結を旗印に次回も大集合！

母・校・は・い・ま

相変わらず厳しい進学の状況

「生徒に望まれる「意識改革」」

今年も受験状況は、相変わらず厳しいようだ。むしろ、生徒の生活状況や意識を見ると、残念ながらいまだに受験生とは言い難い有様で、かなり深刻な状況にある。

やはり肌身で感じる刺激が乏しいということなのか。三年生は今なすべき事が明確なのだから時間を有効に使って力を蓄積。一、二年生は「いつか」ではなく、「すでに」自分の問題であるとの意識がほしい。センター試験をはじめ、多くの大学で出題する科目は二年生までのもので、一、二年でしっかり基礎を固めておけば、現在古高生の志望レベルでは現役で実現可能です。

平成6年度 大学合格者数

| 大学別 | 合格者数 | 6年度卒 | 過年度卒 |
|-----------|------|------|------|
| 国立大学 | 56 | 21 | 35 |
| 公立大学 | 8 | 4 | 4 |
| 国公立短大 | 4 | 1 | 3 |
| 私立大学(含短大) | 390 | 133 | 257 |
| 文部省管轄外の学校 | 3 | 0 | 3 |
| 合計 | 461 | 159 | 302 |
| 前年度(最終) | 442 | 181 | 261 |

それには毎日三時間の家庭学習が必要となるが。現在三年生に対して行われている大学受験対応の問題演習を主とした即戦力養成の課外講習の関心が高いようなので、最後まで持続する事を願っています。(進路指導資料より抜粋)

| | | | | |
|------------------|--------------|-------------|-------------|------------------|
| 北海道大学 1(0) | 札幌学院大 7(4) | 東京国際大 1(0) | 専修大 1(0) | 関西大 1(0) |
| 室蘭工業大 1(0) | 札幌大 11(1) | 城西大 7(1) | 創価大 1(0) | 龍谷大 1(0) |
| 弘前大 1(0) | 函館大 2(1) | 埼玉工業大 1(1) | 拓殖大 2(0) | 同志社大 2(1) |
| 岩手大 5(3) | 北星学園大 1(1) | 獨協大 3(0) | 大東文化大 9(3) | 立命館大 6(2) |
| 東北大 9(2) | 北海道工大 2(0) | 文教大 2(2) | 中央大 10(3) | 大阪学院大 1(0) |
| 宮城教育大 13(8) | 北海道薬科大 1(0) | 中央学院大 1(0) | 帝京大 9(0) | 大阪経法大 1(0) |
| 山形大 9(6) | 東日本学園 1(0) | 亜細亜大 5(1) | 東海大 7(4) | 岡山理科大 2(0) |
| 福島大 5(1) | 青森大 3(1) | 東京工大 1(1) | 東京経済大 2(0) | 東亜大 1(0) |
| 筑波大 1(0) | 八戸工業大 1(0) | 武蔵野美術大 1(0) | 東京農業大 5(3) | 小計 15(3) |
| 埼玉大 1(0) | 八戸大 1(0) | 帝京科学技術 1(0) | 東京理科大 4(1) | 私立短期大 |
| 東京学芸大 2(0) | 富士大 1(1) | 東京情報大 1(0) | 東洋大 7(1) | 東北科学技術 4(1) |
| 一橋大 1(0) | 盛岡大 5(3) | 明星大 1(1) | 二松学舎大 1(1) | 立正短期大 1(0) |
| 電気通信大 1(0) | 岩手医科大 1(0) | 麗沢大 2(2) | 日本体育大 1(0) | 洗足学園短大 1(1) |
| 新潟大 1(0) | 石巻専修大 17(9) | 青山学院大 4(0) | 日本大 7(1) | 合計 30(13) |
| 信州大 1(0) | 東北学院大 89(40) | 学習院大 3(2) | 法政大 6(1) | その他 |
| 富山大 1(1) | 東北工業大 19(11) | 北里大 1(1) | 明治学院大 1(0) | 職能力開発大 1(0) |
| 会津大 1(1) | 東北福祉大 9(3) | 多摩美術大 1(0) | 明治大 4(1) | 宮城職業能力開発短期大 2(0) |
| 高崎経済大 3(2) | 東北薬科大 2(0) | 慶應義塾大 2(1) | 立正大 2(0) | 合計 3(0) |
| 都留文化大 3(1) | 秋田経法大 5(2) | 上智大 2(0) | 早稲田大 11(3) | 国公立大学 64(25) |
| 愛媛大 1(0) | 東北芸術工大 1(0) | 立教大 1(1) | 神奈川大 8(1) | 国公立短大 4(1) |
| 高知大 2(0) | いわき明星大 4(1) | 國學院大 4(1) | 関東学院大 7(2) | 私立大学 384(131) |
| 合計 64(25) | 奥羽大 2(1) | 国士館大 3(0) | 神奈川工大 2(1) | 私立短大 6(2) |
| 宮農短期大 2(1) | 流通経済大 2(2) | 駒沢大 10(2) | 名古屋外語大 1(0) | 私立短大 6(2) |
| 東北大学医療技術短期大 1(0) | 関東学園大 2(0) | 工学院大 1(0) | 名古屋商科大 1(1) | その他 3(0) |
| 山形産業技術短期大 1(0) | 白鷺大 0(2) | 成城大 1(1) | 山梨学院大 7(1) | 合計 461(159) |
| 合計 4(1) | 小計 193(82) | 小計 60(18) | 小計 116(28) | 総合計 461(159) |

※ 数字左は全合格者、カッコ内は現役の合格者数です。

第7回大崎地方出身

経済人懇談会開催さる

さる6月3日(金)、渋谷区の日本団体生命保険(株)本社10階会議室で7回目的「大崎地方出身者在京者経済人懇談会」が古川商工会議所の主催で開催されました。

地元古川からは、古川商工会議所幹部をはじめ中川俊一古川市長、市の代表幹部が出席し、関東地区で活躍中の経済人20数名から郷土古川に対して熱いメッセージが寄せられた。在京古高同窓会からの出席者は次の通り。

- 多藤省徳(昭9)、高橋淳夫(昭17)
 - 倉沢健治郎(昭22)、半田實(昭22)
 - 鈴木大吉(昭23)、佐藤浩朗(昭23)
 - 門脇健(昭24)、三浦澄能(昭24)
 - 加藤忠(昭25)、遠山仁一(昭25)
 - 佐藤進(昭26)、春田紘輔(昭27)
 - 島田和夫(昭30)、片平司朗(昭31)
 - 田口正一(昭33)
- 以上敬称略

訃報

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

- 佐々木 三十郎さん(大正9年卒)
 - 木村 秀二郎さん(昭和2年卒)
 - 福島 勲さん(昭和3年卒)
 - 庄司 裕哉さん(昭和6年卒)
 - 高橋 修さん(昭和29年卒)
 - 大場 孝さん(昭和29年卒)
 - 浅野 金六さん(昭和30年卒)
 - 矢吹 直敏さん
- 平成5年11月没

フジ会計事務所

(株)フジ マネジメント・プロジェクト

会長

税理士 行政書士 経営管理士

渡辺 三男(昭和18年卒)

〒123 東京都足立区西新井本町1-16-12

東武マンション 510

TEL 03(3896)2707(代表)

今時の若い者は? = 児斜(自・社)連立
どうにもならないね。若者に笑はれる

積水工業(株) 本社 目黒03-3793-5711
支店 仙台022-235-7009

(28年卒) 阿呆社長 金子 康

変動金利 定期預金

※6カ月毎に金利が変動、確定利回りではありません。



いい明日をつくる

徳陽シティ銀行 東京支店

東京都台東区上野1丁目18番8号 TEL 03(3834)1001

コンピューター応用機器開発・設計

株式会社 日本アセンブラ

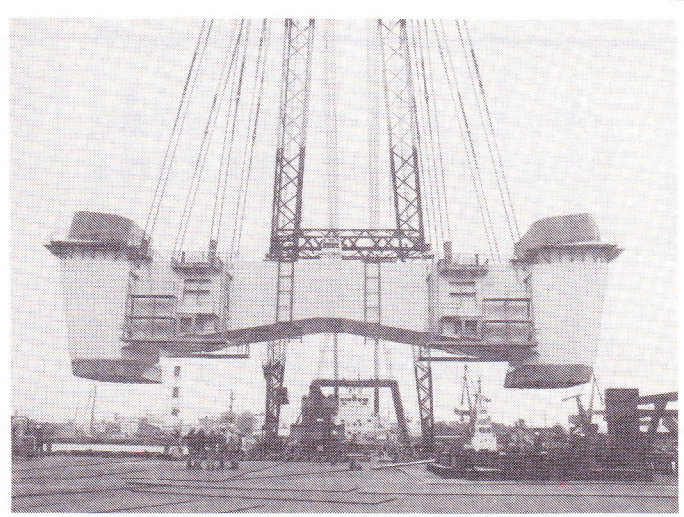
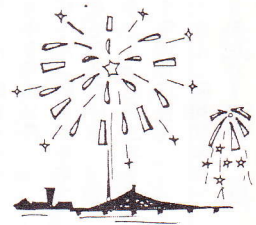
代表取締役 伊澤 正雄
(昭和44年卒)

杉並区阿佐谷南1-14-2

TEL 03(5378)7000 FAX 03(5378)7004

平成6年度総会参加者一覧

| | | | | |
|-----------------|----------------|---------------|----------------|----------------------|
| 昭和5年 永澤幸七 | 昭和22年 竹中潤郎 | 石堂十六男 尾崎平司 | 結城康太 我妻一美 | 昭和58年 佐々木伸広 |
| 昭和8年 及川八郎 | 昭和23年 半田實 | 堂崎平谷正 | 昭和40年 浅野仁也 | 昭和59年 渡辺茂典 |
| 昭和9年 大場正治 | 昭和24年 菅昇梯 | 熊菅原陸 | 昭和41年 大佐藤啓三 | 昭和61年 千葉英俊 |
| 昭和10年 伊藤守治 | 昭和25年 早坂馨 | 鈴萩益子 | 昭和44年 遠藤賢生 | 平成4年 菅原崇臣 |
| 昭和12年 多藤省徳 | 昭和26年 斎藤精二 | 三功二康 | 昭和45年 小高二藤 | 来賓 清水川令一 |
| 昭和14年 三浦亮二 | 昭和27年 中川精二 | 阿部泉謙 | 昭和51年 高橋郷井 | 古川高等学校校長 千葉香一 |
| 昭和16年 千葉憲一 | 昭和28年 遠藤芳夫 | 大加川戸木 | 昭和53年 伊澤澤木 | 古川高等学校同窓会会長 野村喜太郎 |
| 昭和17年 大宮正義 | 昭和29年 佐藤芳夫 | 川口刈木 | 昭和54年 鈴木高細 | 在仙古高同窓会副会長 三浦良 |
| 昭和18年 佐々木恂一 | 昭和30年 鎌田正孝 | 草木佐々木 | 昭和55年 菅原山井 | 古川女子高同窓会 鈴木富子 |
| 昭和19年 岩城有信 | 昭和31年 斎藤朝一 | 下高梨利通 | 昭和56年 荒関研吾 | 古川工業高同窓会 萩原節子 |
| 昭和20年 西塚有禮 | 昭和32年 種村雄紘 | 高橋武光 | 昭和57年 早坂博時 | 古川商業高同窓会 松下巖郎 |
| 昭和21年 伊藤宗一郎 | 昭和33年 春田紘輔 | 高橋渡 | 昭和58年 浅野勝弘 | 古川上野孝一 |
| 昭和22年 福島光男 | 昭和34年 加藤隆道 | 藤重信 | 昭和59年 高橋誠一郎 | 古川佐々木次郎 |
| 昭和23年 高橋淳夫 | 昭和35年 金子本道 | 佐戸志智夫 | 昭和60年 平川弘幸 | 古川上野孝一 |
| 昭和24年 青沼康男 | 昭和36年 藤渡道 | 穴藤志秀 | 昭和61年 遠藤和健 | 古川佐藤八雄 |
| 昭和25年 加藤弘靖 | 昭和37年 野賢次 | 青砥三郎 | 昭和62年 尾形俊幸 | 古川佐藤利五郎 |
| 昭和26年 高橋靖 | 昭和38年 小野五郎 | 梅大今三 | | |
| 昭和27年 青安善次郎 | 昭和39年 熊谷虎夫 | 佐々木浦岸 | | |
| 昭和28年 熊佐木治典 | 昭和40年 高橋昭典 | | | |
| 昭和29年 佐々木昭五郎 | 昭和41年 高橋浩五郎 | | | |
| 昭和30年 高前山榮治 | 昭和42年 石川勝夫 | | | |



(名港中央大橋部材の一部)

技術と品質で21世紀に飛翔する。



株式会社 宮地鐵工所

代表取締役社長 遠山 仁一 (S.25卒)
 東京都中央区日本橋小伝馬町15番18号

ステージ南大井グランドパーク

平成6年11月末日竣工予定

(総戸数53戸)



株式会社ハウジングセンター

代表取締役 小嶋 進 (古高47年卒)

東京都知事(5)41620 (社)住宅産業開発協会会員
 TEL 03 (3738) 5111